

高梨志保 サマー・コンサート

2005年 8月21日
地球館ホールにて

ドイツからの帰国コンサートを行いました。
トークを交えての演奏は、なかなか難しいもの
でしたが、企画やプログラム作りなど、色々なことを
楽しめたコンサートでした。

ご来場いただきました皆様、支えてくださった
沢山の方々に、心よりの感謝を申し上げます。
私一人では、どうしても成し得なかったものでした。
本当に、どうもありがとうございました！

高梨 志保



Program

バッハ(1685~1750):パルティータ 第5番 ト長調 BWV 829

I. プレアンブルム	Praeambulum
II. アルマンド	Alemande
III. コレンテ	Corrente
IV. サラバンド	Sarabande
V. テンポ・ディ・ミヌエット	Tempo di Minuetto
VI. パスピエ	Passepied
VII. ジーグ	Gigue

プレアンブルム・・・プレリュード(前奏曲)の意味。バッハは2声の楽曲で用いた。

アルマンド・・・ゆるやかな2拍子系の舞曲。

コレンテ・・・「走る」という言葉に由来するテンポの速い舞曲で、絶えず走り回るような音形が特徴。

サラバンド・・・17, 8世紀にヨーロッパで流行したダンス。ゆるやかな3拍子で、厳かな表情を持つ。

テンポ ディ ミヌエット・・・4分の3拍子で踊られる舞曲。ステップの幅が小さい踊り。

パスピエ・・・速めの8分の3、または8分の6拍子の陽気で快活な舞曲。フランスで流行。

ジーグ・・・イギリスで流行した舞踏。同じテーマをいくつもの声部が追いかける、フーガの書法で書かれる。

ブラームス(1833~1897): 4つのピアノ小品曲 Op.119

1. Intermezzo - Adagio
2. Intermezzo - Andantino un poco agitato
3. Intermezzo - Grazioso e giocoso
4. Rhapsodie - Allegro risoluto

いつもの道を、「赤いハリネズミ」に向かうブラームス

絵 オットー・ペーラー



ドビュッシー(1862~1918): 前奏曲集 第2巻より



J. M. バリ著『ケンジントン公園のピーターパン』より

絵 アーサー・ラッカム(上図)

スコットランド ヒースの咲く丘 (右図)

Ⅲ. ヴィーノの門

Ⅳ. 妖精はよい踊り子

Ⅴ. ヒースの茂る丘

Ⅵ. 風変わりなラヴィーヌ將軍



スクリャービン(1872~1915): ピアノソナタ3番 嬰へ短調 Op.23

- | | |
|-----|------------------|
| 1楽章 | Drammatico |
| 2楽章 | Allegretto |
| 3楽章 | Andante |
| 4楽章 | Presto con fuoco |

ロシアの作曲家で、初期の作品を書いている頃は「ロシアのショパン」と呼ばれる。

調性によって色彩のイメージがあり、このソナタにも当てはまる『嬰へ調』では「深い青、精神的な」色がイメージされている。このソナタも初期のものなので、非常にロマンティック。

後に神秘主義にのめり込み、「音楽とは単なる娯楽ではなく、世界の背後に存在する神の智慧の表れである。これを使って人々を法悦の境地へ導き、神との合一を経験させ、通常の人間を超越した存在へと解脱させることができる…」という主義の下に作曲を続けることとなる。